

# 2026年『AIロボティクス戦略』の全貌：フィジカルAI時代の産業政策

## ビジョンと野心的な定量目標

2040年目標：世界シェア

国内20兆円市場

20兆円



人手不足解消と産業競争力強化  
(製造、物流、建設、介護等16分野)

3割超

供給と需要の「一気通貫」設計：技術開発と導入促進を一体化

## 社会実装ロードマップ：タスク起点の現実主義

短期（～2027年）：8つの共通タスクへの先行導入



点検



搬送



清掃



入出荷・  
パレタイズ



ハンドリング  
溶接  
塗装

2027年6月



国産ロボット基盤モデル  
(ベータ版) 公開：  
開発スピード加速

## 投資枠組みと財政支援

2030年度までに公的支援10兆円、官民投資50兆円超

50兆円超

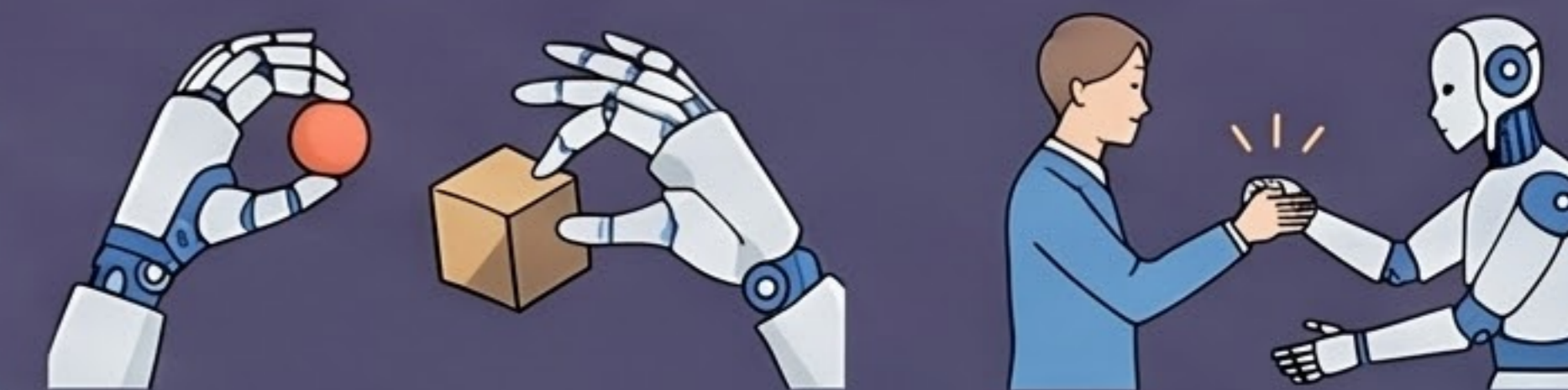


AI・半導体産業基盤強化  
フレームを活用

分散投資から「AIロボティクス」への重点化：マルチモーダル基盤モデル開発などに巨額予算配分

官需アンカーデマンドの創出：公的分野での継続調達により重産投資を促進

中長期：高難度タスク「指作業」への拡大  
不定形物操作や対人協働など、より接線な自律動作へ



## 実現に向けたボトルネックとリスク



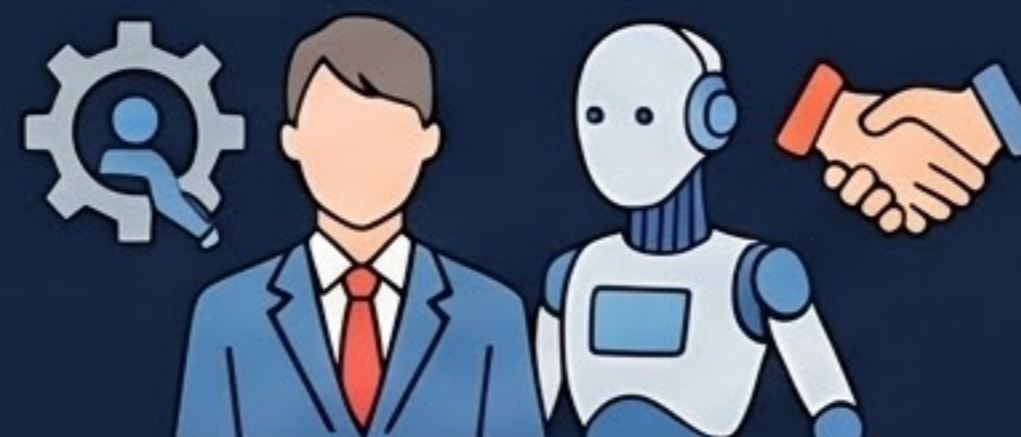
技術的課題：Sim2Realギャップの克服  
シミュレーションから現実世界への適応、  
高信頼な自律移動のブレークスルーが必要



制度的課題：責任分界と安全総証  
事故時のPL法責任、現場ごとの規制適  
合判断の迅速化が重要



社会的課題：労働移動と再訓練  
AI導入による職務再編、現場労働者の  
リスクリングや信頼関係の構築が不可欠



## 主要な追加措置の優先度と狙い

優先度	追加措置	狙い
高	官需アンカーデマンド基金	継続調達により供給側の 重産投資を誘発
中	安全評価・認証ネットワーク	事故責任・保険の不確実性を低減
中	AI-Readyデータトラスト	データ共有の実務的コストを低減
低	地域Sler育成ネットワーク	導入・運用を支援できる企業を増やす